

Sumitomo Dental Clinic News Letter 2017年7月号



堺市北区蔵前町3-2-8 サンロード蔵前104

☎072-250-3117 住友歯科医院 検索Q

こんにちは！住友歯科医院 院長の住友 敏彦です。
いよいよ夏本番ですね。楽しい夏を過ごすには健康がいちばん！
熱中症や夏かせ対策として、帽子着用、水分補給、食事等に気をつけ、
元気いっぱい暑い夏を乗り切っていきましょう。
大切な皆様のお口の管理は当医院にお任せください。



■ご挨拶

こんにちは！いつも住友歯科医院にお通い頂き、ありがとうございます。スタッフによるリレーエッセイ。全員回ったところで今月号は私、住友が担当させていただきます。

■お伊勢参りに行ってきました

先日の木曜の休診日、妻と日帰りで伊勢神宮に行ってきました。天照大御神を祭神とし、ご神体は三種の神器の一つ、八咫の鏡（やたのかがみ）です。ちなみに八咫瓊勾玉（やさかにのまがたま）は皇居。草薙の剣（くさなぎのつるぎ）は名古屋の熱田神宮に祀られています。

五十鈴川のほとり、神路山のふもと、うっそうと茂る樹林につつまれ、五十鈴川のせせらぎや参道に敷き詰められた玉砂利の音を楽しみながら内宮に向かいます。

■五十鈴川

伊勢神宮のパワースポットとして有名なのが、この五十



鈴川です。内宮への参道の中ほど、手水舎を過ぎると右方向へ五十鈴川の河原へ下りる道があり、御手洗場（みたらしば）が設けられています。

昔ながらに、五十鈴川の澄んだ流れで身も心も清めてからお参りしました。

■健康を祈願

歯科治療を通じて地域医療に貢献したい、そして当院においてくださる皆様、毎日私を支えてくれるスタッフが健康で幸せに過ごせますように、そんな思いを込めてお祈りしてきました。

仕事も、勉学も、日々の生活の土台は「健康」。これに尽きると思います。大切な皆様の健康を管理させていただける幸せを噛み締めながら、足取りも確かにお参りを済ませ、平日にもかかわらず参拝客で賑わうお伊勢さんを後にしました。



長男の体育祭に行ってきました。

幼かった我が子が小学校に入学と思ったら、あっという間に高校生。日々目覚ましく成長する姿に目を細める保護者のかたも多いのではないのでしょうか。

学校での子どもの姿を見ることができる行事はさまざまありますが、やはり運動会で頑張っている姿を見るのは特に楽しみです。生き生きと競技に取り組む我が子の姿勢に胸が熱くなっておりました。

住友歯科医院 院長 住友 敏彦



Hot Break Times

住友歯科医院
Topics実は周りの大人次第
「子どもの虫歯」

●はじめに

赤ちゃんが将来、虫歯や歯周病になりやすくなるかどうかは周りの人…特にお母さんのお口の状態次第だということをご存知でしょうか？

●ミュータンス菌 (MS菌/虫歯菌)

生まれたばかりの赤ちゃんは、ほとんど無菌の状態です。ところが、出産直後から虫歯の主な要因はミュータンス菌(虫歯菌)に感染するリスクが始まります。それは、親兄弟、祖父母など、周りの人間からの感染によるものです。

特に、一緒にいる時間が一番長い人…お母さんのお口の状態が赤ちゃんにコピーされる可能性が最も高くなります。

下の図をご覧ください。お母さんの抱えているミュータンス菌の量が多い程、感染の危険性が高まり、感染率58.1%と高い数値のデータが出ています。

赤ちゃんに感染する原因としては、直接口から口や、箸、スプーンなどの共用、指など。目に見えない細菌はいつど

こで感染しているか分かりません。一度口にいったスプーンや箸などを赤ちゃんの口に入れるだけでも、感染してしまうのです。

1～3歳頃までに口腔内の細菌の生態系、菌バランスはおおよそ完成すると言われております。幼稚園、小学校など、自分が意識できる前には実はお口の病気になるやすいかどうかが決まってしまうと言っても過言ではないのです。

●虫歯菌の母子感染

このように、お口の病気になるやすい体質は、生まれつきではなく、後天的によるもの。お母さん自身も、自分のせいで虫歯や歯周病になりやすくなったわけではないのかもしれないかもしれません。

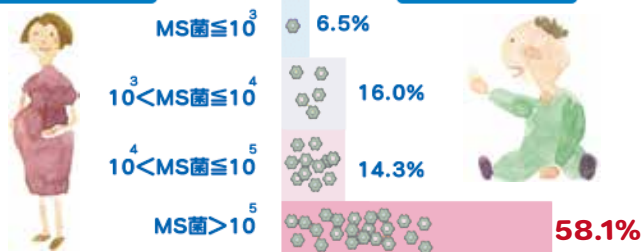
歯周病に感染している女性の場合、早産・低体重児出産のリスクは7倍にもなります。つまり、妊娠する以前からお口の健康に気をつけているかどうか非常に大切だということです。我が子を「なりやすい体質」にしない為には生まれる前からの口腔ケアが重要なのです。

歯の表側はきれいに見えても、歯の裏側や歯と歯の間に歯石や汚れが付着されている方は多数いらっしゃいます。

大切なことなので何度も言いますが、歯が生え始める生後6ヶ月頃から感染が始まります。この時期は「感染の窓」と呼ばれ、最も注意が必要とされています。

かけがえのない小さな家族への感染予防、そしてこれ以上感染が広まらないためにも、お母さん&お父さんはもちろん、おじいちゃん・おばあちゃんまで含めた、ご家族全員の定期的な細菌除去のメンテナンスが必要です。

※お子さんを守るメンテナンスについて、ご興味がお有りの方は、受付またはスタッフまでお気軽にご相談ください。

母親のMS菌の数
単位CFU/ml感染している
子供の率

思い出写真館とめぐる

Dr.Toshihiko's Essay 「七夕伝説」

7月7日は七夕ですね。今回は、七夕のルーツになった古代中国の「七夕伝説」について、改めて振り返ってみたいと思います。

昔むかし、天の川の西岸に、織姫という娘が住んでいました。織姫は天を支配する天帝の娘で、機織りの名手。毎日のように美しい布を織り上げる織姫を、天帝はとてかわいがっておりました。やがて織姫も年頃になり、天帝は、働き者と評判の東岸に住む彦星を引き合わせました。ところが結婚してからというもの、夫婦仲が良すぎて一緒に遊んでばかり。これに怒った天帝は、天の川をへだててふたりを離れ離れにしまいました。これで再び仕事に取り組むだろう……天帝はそう期待していましたが、ふたりとも悲しみに明け暮れるばかりで仕事にもなりません。そこで、一生懸命仕事にはげむことを条件に、七夕の夜に限って再会することを許したのです。自業自得と言ってしまえばそれまでですが、こういった伝説には先人達からのメッセージが込められていて、大人になった今改めて見直すと、いろいろ気付かされる事があります。

